令和4年度　桃陽総合支援学校　前期学校評価アンケート

教職員

確かな学力	健やかな身体	豊かな心			教職員	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
■			学習について	①	児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	8.0%	67.0%	21.0%	4.0%
■		■							
■				③	子どもがICT機器を利用できるように指導する	21.0%	79.0%	0.0%	0.0%
■				④	自主学習が習慣づく指導を行う	0.0%	35.0%	52.0%	13.0%
■				⑪	わかりやすい授業づくりを工夫する（ICTの有効活用を含む）	8.0%	79.0%	13.0%	0.0%
■		■							
■	■	■	生活について						
		■		②	子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	8.0%	58.0%	29.0%	4.0%
		■		⑤	児童生徒がすすんであいさつできるように指導する	4.0%	50.0%	42.0%	4.0%
		■		⑥	子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	4.0%	64.0%	28.0%	4.0%
		■		⑨	子どもが協力して取り組めるような活動を計画立案する	8.0%	67.0%	21.0%	4.0%
		■		⑧	学校の行事のねらいを明確にし，児童生徒にとって意義のあるものにする	13.0%	71.0%	13.0%	4.0%
		■		⑦	社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	0.0%	75.0%	17.0%	8.0%
	■			⑬	子どもが自分の健康管理に気を付けられるように指導する	8.0%	83.0%	4.0%	4.0%
	■	■	自己理解・キャリア発達に関すること	⑩	子どもの良いところを見つけほめる	25.0%	71.0%	0.0%	4.0%
	■			⑫	子どもの相談に適切に応じる	13.0%	70.0%	9.0%	9.0%
■				⑭	児童生徒に関することを主治医と十分話し合い個別の包括支援プランに活かす	4.0%	54.0%	33.0%	8.0%
■				⑮	個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
			教育環境や地域との連携について						
				⑯	教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	9.0%	55.0%	32.0%	5.0%
				⑰	学校経営方針に基づく予算を立案し，効果的な執行をする	4.0%	74.0%	17.0%	4.0%
				⑱	保護者・病院・地域との連携を密にして，より開かれた信頼される学校づくりを推進する	5.0%	57.0%	33.0%	5.0%
				⑲	近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	0.0%	27.0%	50.0%	23.0%
				⑳	児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	38.0%	63.0%	0.0%	0.0%
				㉑	児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	17.0%	74.0%	9.0%	0.0%

児童生徒の健康管理に関すること、良いところを見つけてほめる、相談に応じるという項目については80%以上の教職員ができていると回答している。また、行事が児童生徒にとって意義あるものになるよう取り組んでいると答えたポイントも高かった。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域との交流を控えているため、この項目のポイントは低かった。自主学習の定着に向けての取り組みや，個別の包括支援プランの修正更新が不十分であると振り返っている教職員の割合も高かった。

保護者

	保護者	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
②	子どもが学習内容を理解し，基礎的な学力をつける	14.0%	43.0%	21.0%	11.0%	11.0%
③	子どもが話をしっかり聞く	11.0%	61.0%	21.0%	0.0%	7.0%
⑤	書籍や新聞タブレットなどを利用して，必要な情報を収集する	25.0%	39.0%	21.0%	4.0%	11.0%
⑥	子どもが自主学習の習慣を身に付ける	0.0%	22.0%	57.0%	21.0%	0.0%
⑫	学校がわかりやすい授業を工夫する	25.0%	43.0%	10.0%	4.0%	18.0%
①	子どもが楽しく学校に通う	39.0%	36.0%	3.0%	11.0%	11.0%
④	子どもが相手に伝わるように話す	14.0%	54.0%	17.0%	4.0%	11.0%
⑦	子どもがあいさつをする	33.0%	47.0%	13.0%	7.0%	0.0%
⑧	子どもが場に応じた言葉づかいをする	25.0%	39.0%	25.0%	7.0%	4.0%
⑩	子どもたちが協力して学校生活をおくる	14.0%	46.0%	11.0%	11.0%	18.0%
⑪	学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	29.0%	36.0%	11.0%	3.0%	21.0%
⑨	子どもが社会のルールを守り生活のマナーを身に付ける	18.0%	64.0%	11.0%	0.0%	7.0%
⑭	子どもが自分の体のことを気を付けて活動する	14.0%	75.0%	11.0%	0.0%	0.0%
⑬	子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	10.0%	50.0%	29.0%	4.0%	7.0%
⑮	学校が個別の包括支援プランについて，わかりやすく説明する	14.0%	36.0%	7.0%	7.0%	36.0%
⑯	個別の包括支援プランにおいて，子どもに合った短期目標が設定されている	11.0%	21.0%	11.0%	7.0%	50.0%
⑰	学校だより，ホームページをなどを見ると，学校の様子がよくわかる	39.0%	47.0%	7.0%	0.0%	7.0%
⑱	学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	46.0%	46.0%	4.0%	0.0%	4.0%
⑲	学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	39.0%	54.0%	0.0%	0.0%	7.0%

80%以上の保護者が、あいさつができルールを守れていると答えている。また、自分の体調に気を付けて活動できていることも・肯定的にとらえている。しかし、8割近くの保護者が自主学習の習慣が身についていないと回答した点は、課題である。また、個別の包括支援プランに関しては，十分説明できていないのではと思われる結果であった。学校の様子は80%以上の保護者は学校だよりやホームページ、学部からのお知らせなどでわかると答えている。

児童・生徒

	児童・生徒	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない
②	勉強はよくわかる	48.0%	29.0%	13.0%	10.0%
③	先生や友だちの話をよく聞いている	48.0%	48.0%	4.0%	0.0%
⑤	本や新聞タブレットを使い，調べたり考えたりしている	38.0%	33.0%	19.0%	10.0%
⑫	タブレットや電子黒板を使って学習することでよくわかる	52.0%	29.0%	14.0%	5.0%
⑬	先生は私の質問にていねいに答えてくれる	57.0%	43.0%	0.0%	0.0%
①	学校生活は楽しい	52.0%	29.0%	5.0%	14.0%
④	思ったことや考えたことを話ししている	38.0%	38.0%	10.0%	14.0%
⑥	自分からすすんであいさつしている	38.0%	38.0%	5.0%	19.0%
⑦	その場に応じた言葉づかいをしている	38.0%	49.0%	5.0%	10.0%
⑨	相手の人の気持ちを考えて行動している	47.0%	38.0%	10.0%	5.0%
⑩	友だちと一緒に活動すると楽しい TV会議などの活動も含む	62.0%	38.0%	0.0%	0.0%
⑧	学校の決まりや約束を守っている	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%
⑮	病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	57.0%	33.0%	10.0%	0.0%
⑪	自分には良いところがあると思う	33.0%	38.0%	10.0%	19.0%
⑭	私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	48.0%	29.0%	10.0%	13.0%
⑯	自分なりの目標をもって生活している	40.0%	40.0%	7.0%	13.0%

肯定的な評価をした項目が多い。決まりやルールを守る、友達と一緒に活動すると楽しい、と全員が回答している。同じく100%の児童生徒が先生は質問に丁寧に答えてくれると答えている。

病院等関係者

	病院等関係者	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
③	導入したICT機器等を有効に活用し，工夫した授業がされている	22.0%	63.0%	4.0%	4.0%	7.0%
①	児童生徒は楽しく学校生活を送っている	22.0%	64.0%	7.0%	0.0%	7.0%
④	来校したとき児童生徒は挨拶する	0.0%	39.0%	11.0%	14.0%	36.0%
②	学校行事において児童生徒は生き生きした活動の様子が見られる	22.0%	52.0%	15.0%	0.0%	11.0%
⑤	児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身に付けている	4.0%	54.0%	18.0%	4.0%	20.0%
⑥	教職員に連絡や相談がしやすい	18.0%	54.0%	21.0%	0.0%	7.0%
⑦	桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	4.0%	19.0%	19.0%	44.0%	14.0%
⑧	学校だより，ホームページなどを見ると，学校の様子がよくわかる	11.0%	33.0%	15.0%	4.0%	37.0%
⑨	学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	7.0%	57.0%	4.0%	4.0%	28.0%

児童生徒が楽しく学校に通うこと、ICT機器を有効活用している項目で肯定的な評価であった。定例のカンファレンスだけでは学校の様子は伝えにくいが、学習の様子を伝える方法をホームページ以外にも検討する必要がある

【全体を通して】

子どもたちは、81%が「学校は楽しいと」思っている。保護者も病院等の関係者も児童生徒の様子をおおむね肯定的にとらえている。友だちと一緒に学習することを楽しいと感じ，自分なりの目標をもって過ごしている点、教職員が行事を意義あるものにしたいと考えている点から、前期の段階では人との関係の中で「学ぶ場」が楽しいととらえているようである。

保護者は、「個別の包括支援プラン」についてわかりやすい説明を求めている。教職員も修正や更新が不十分であると考えている。「自分なりの目標をもって日々を過ごしている」と答えている児童生徒のねがいの実現に向け，有効活用できるようにしていきたい。

確かな学力の育成:

少人数である環境を生かし、理解度を確認しながら学習を進めることができている。放課後学習の誘い掛けにより、わからないことを質問できる環境も工夫している。個別の包括支援プランに基づき、個々の児童生徒に応じた学び方に対応する一方で、授業の中で疑問や問題が解決するような支援を試みていきたい。

豊かな心の育成:

運動会や学習発表会などの行事は、児童生徒が「～なすがたでありたい」という具体的な目標を設定し、成し遂げようとする過程で体験的に学べる機会となった。目標達成のためにスモールステップで成し遂げる経験ができた者もあれば、取組に向けた姿勢や困ったことの回避方法を考え実践した者もあった。これらの変容を個別の包括支援プランに反映させ共有することで、次のステップに生かしていきたい。

健やかな身体の育成:

児童生徒は定められた枠を逸脱しないように生活している。治療や服薬管理など自分の体調について特に気を付けていることが、アンケート結果からうかがえる。来校者や校外での活動の機会が増えていることから、これまでよりも挨拶をしたり、交流する機会が増え、できていると実感する者が増えている。周りの大人が求める姿と児童生徒の自己評価との間にはややずれがある。教職員が具体的なふるまいを示すことで，個々の児童生徒に応じた対応の仕方の引出しを増やすことにつなげていきたい。

独自の取組:

分教室ではリモートによる校外学習や見学を企画し、制限はあるものの、臨場感のある実践となった。

GIGA端末でできることもあれば、別のICT機器の利用を検討する方が有効なこともあり、学習のねらいに応じた機器の導入を検討する必要がある。リモート学習が増える一方で対面による細やかな指導を求める声も多い。両輪で学習を進めることが求められる。